

学校評価

教職員による自己評価

NO	評価項目	重要度	実現度	ニーズ度
		6.30	4.44	22.27
(1) 学校経営全般・学校教育目標の実現に向けて				
1	校長が学校経営でリーダーシップを発揮していること。	6.32	5.19	17.78
2	学校教育目標に基づいた学年経営・学級経営を行うこと。	6.32	4.25	23.72
3	教職員の意見が学校運営に反映されること。	6.54	4.27	24.39
4	各種会議の結果が学校運営や教育活動に生かされていること。	6.49	4.32	23.84
5	教職員が、学校経営に意欲的に取り組める環境であること。	6.65	4.36	24.19
6	教職員が、教育公務員としての自覚をもち、職務に励むこと。	6.54	5.30	17.68
(2) 子どもの学校生活について				
7	子どもが学校で楽しそうに生活していること。	6.49	5.14	18.58
8	子どもに基礎的な学力が身についていること。	6.65	4.30	24.62
9	委員会やクラブ活動、集会等を子どもが主体的に実践すること。	6.11	4.76	19.81
(3) 学習指導・特別支援教育・食教育について				
10	学習形態を工夫して、子どもの自主的な学習をはぐむこと。	6.38	4.08	25.00
11	子どもの自ら学ぶ意欲や態度を認めて、指導にあたること。	6.43	4.54	22.25
12	子どもの能力や努力を適切に評価していること。	6.49	4.70	21.39
13	学校が特別支援教育の充実のため、児童のニーズにあった指導を行うこと。	6.24	4.43	22.27
14	食教育が充実していること。	5.57	4.65	18.66
(4) 児童指導・人権教育について				
15	教員が子どものことを理解して指導にあたること。	6.65	4.54	23.00
16	教員がいじめのや暴力のない。学校生活環境を保つこと。	6.65	5.03	19.77
17	子どもの間違った行動に対して、適切に助言し、指導すること。	6.59	4.62	22.28
18	子どもが思いやりや優しさをもつように指導すること。	6.49	4.68	21.56
19	子どもの人権を尊重した指導を行うこと。	6.38	5.00	19.14
(5) 保護者・地域との連携、幼保中交流について				
20	保護者・地域と連携して子どもの指導にあたること。	6.16	4.00	24.65
21	子どもたちが地域の行事に参加すること。	5.30	2.76	27.78
22	幼保中と連携して子どもの指導にあたること。	5.24	2.76	27.49
(6) 学校組織・運営について				
23	教職員の間で必要な情報が共有されていること。	6.59	3.68	28.52
24	校務分掌が機能し、連携した組織になっていること。	6.38	3.76	27.07
25	教職員の適性や能力に応じた校務分掌になっていること。	5.95	4.41	21.37
26	文書・表簿等の管理・点検を適切に行うこと。	6.32	3.97	25.47
27	公費に関する情報が全教職員に公開されていること。	5.89	4.61	19.97
(7) 教職員研修・授業力の改善について				
28	校内研修・研究が、実践に役立っていること。	6.00	4.54	20.76
29	校外研修・研究会が実践に役立っていること。	5.89	3.84	24.52
30	校外研修・研究会の成果を他の教職員へ伝えること。	5.25	2.51	28.80